

令和3年度公共事業評価対象事業に係る県の対応方針について

令和4年1月7日に福島県公共事業評価委員会から知事へ提言のあった令和3年度公共事業評価対象事業（9件）について、県の対応方針を以下のとおり決定しました。

1 事業全体に共通する意見

委員会の意見	県の対応方針
<p>(1) 道路整備事業全体について</p> <p>本年度の道路整備事業の多くは、当初計画時に比べて事業費が著しく増加している。その理由は、地域の情勢や施工条件の変化に伴う工法変更が主なものである。評価対象の公共事業はいずれも東日本大震災からの復興及び地域の活性化に寄与する重要なものと判断できる。そのためにも事業推進に際しては、引き続き納税者への説明責任を全うするとともに、公共事業が果たす役割を県民が正しく理解できるよう留意されたい。なお事業計画立案に際しては、社会情勢の変化の見通しや工事箇所の土質・地盤条件を的確に捉えることが出来るよう、これまで以上に事前調査の精度向上に努められたい。</p>	<p>引き続き、公共事業が果たす役割について、県民が正しく理解できるよう様々な機会を捉え、丁寧な説明に努めてまいります。</p> <p>また、事業計画立案に際しては、関係機関と綿密な協議・調整を図るとともに、工事箇所の土質・地盤条件を的確に把握するため、これまで以上に事前調査の精度向上に努めてまいります。</p>

2 審議対象となった公共事業（9件）

整理番号	事業	箇所名 (市町村)	委員会の意見	県の対応方針
101	交付金事業 (道路)(再生・復興)	小野富岡線 西ノ内 (川内村)	[対応方針] 事業継続 [付帯意見] なし	[対応方針] 事業継続
102	交付金事業 (砂防)	西田面沢 (会津若松市)	[対応方針] 事業継続 [付帯意見] なし	[対応方針] 事業継続

整理番号	事業	箇所名 (市町村)	委員会の意見	県の対応方針
103	交付金事業 (砂防)	滝ノ沢 (矢祭町)	<p>[対応方針] 事業継続 [付帯意見]</p> <p>合意を得られていない地権者に対して、現場状況や災害発生リスク、整備の必要性を理解いただけるよう、科学的データ等を示しながら、丁寧な説明と粘り強い交渉を重ね、早期着工に努められたい。</p> <p>工事完成までの期間は、地元住民・県道利用者等への危険性の周知や警戒避難体制の整備等、あらゆるソフト対策を講じ、地元自治体等とも連携しながら災害時の被害軽減を徹底して図ること。</p>	<p>[対応方針] 事業継続 [付帯意見への対応方針]</p> <p>合意を得られていない地権者に対して、現場状況や災害発生リスク、整備の必要性とともに施工時の影響を軽減する対策を丁寧に説明するなど、早期に着工できるよう粘り強く交渉を重ねてまいります。</p> <p>また、工事完成までの期間は、地元自治体等とも連携しながら、災害時の被害を軽減するため、地元住民・県道利用者等への危険性の周知や警戒避難体制の整備等のソフト対策をしっかりと講じてまいります。</p>
104	交付金事業 (街路)	栄町大笹生 線南沢又 (福島市)	<p>[対応方針] 事業継続 [付帯意見] なし</p>	<p>[対応方針] 事業継続</p>
105	交付金事業 (道路)(再生・復興)	浪江三春線 小出谷 (浪江町、 葛尾村)	<p>[対応方針] 見直し継続 [付帯意見]</p> <p>本事業の財源は国民負担によるものである。事業推進にあたっては、防災対策やさらなる計画変更による工事費の増加が生じないよう十分に留意するとともに、コスト削減のため不断の努力を重ね、早期完了に努められたい。併せて、今後の道路整備事業の計画立案においては、事業着手後短期間のうちに大幅な計画変更が生じぬよう、地域情勢の変化等について関係機関と綿密な協議・連携を図り、よりの確な見通しを得ることに努められたい。</p>	<p>[対応方針] 見直し継続 [付帯意見への対応方針]</p> <p>コスト削減のため、不断の努力を重ねながら、早期完了に向け事業を進めてまいります。また、今後の道路整備事業の計画立案においては、関係機関と綿密な協議・連携を図り、より適正な計画策定に努めてまいります。</p>

整理 番号	事業	箇所名 (市町村)	委員会の意見	県の対応方針
106	交付金事業 (道路) (再 生・復興)	小野富岡線 高津戸 (富岡町)	<p>[対応方針] 見直し継続 [付帯意見]</p> <p>本事業の財源は国民負担によるものである。事業推進にあたっては、残土処理の工夫をはじめ、コスト削減に向けたあらゆる手段を検討しながら、早期完了に努められたい。併せて、今後の道路整備事業の計画立案においては、事業着手後に大幅な計画変更が生じぬよう関係機関と緊密な情報共有と調整を図るとともに、現場発生土の土質を的確に把握して、有効活用することについても検討するよう努められたい。</p>	<p>[対応方針] 見直し継続 [付帯意見への対応方針]</p> <p>コスト削減のため、不断の努力を重ねながら、早期完了に向け事業を進めてまいります。また、今後の道路整備事業の計画立案においては、関係機関と緊密な情報共有と調整を図るとともに、現場発生土の有効活用に一層努めてまいります。</p>
107	帰還・移住 等環境整備 事業	井手長塚線 長塚 (双葉町)	<p>[対応方針] 見直し継続 [付帯意見]</p> <p>本事業の財源は国民負担によるものである。事業推進にあたっては、コスト削減に向けたあらゆる手段を検討しながら、早期完了に努められたい。併せて、今後の道路整備事業の計画立案においては、事業着手後に大幅な計画変更が生じぬよう関係機関と緊密な情報共有と調整を図るとともに、構造物建設予定地の地盤条件を的確に把握するための調査方法についても検討するよう努められたい。</p>	<p>[対応方針] 見直し継続 [付帯意見への対応方針]</p> <p>コスト削減のため、不断の努力を重ねながら、早期完了に向け事業を進めてまいります。また、今後の道路整備事業の計画立案においては、関係機関と緊密な情報共有と調整を図るとともに、構造物建設予定地の地盤条件を的確に把握する調査方法について検討してまいります。</p>

整理番号	事業	箇所名 (市町村)	委員会の意見	県の対応方針
201	農山漁村地域整備交付金	いわき地区 (いわき市)	[対応方針] 事業継続 [付帯意見] なし	[対応方針] 事業継続
202	防災ダム事業	龍生地区 (天栄村)	[対応方針] 見直し継続 [付帯意見] なし	[対応方針] 見直し継続

3 福島県公共事業評価委員会による審議の経過

月 日	委員会・部会
6月16日	第1回福島県公共事業評価委員会（6事業を審議）
7月16日	福島県公共事業評価委員会合同部会（2事業を現地調査）
9月 9日	第2回福島県公共事業評価委員会（意見取りまとめ）
12月 3日	第3回福島県公共事業評価委員会（追加3事業を審議・現地調査）
1月 7日	公共事業評価委員会から知事への意見具申